

1 はじめに

西宇和支部は、小学校6校・中学校3校の計9校で構成されている。一昨年度に、中学校の教室の黒板がホワイトボードに変わり、電子黒板が導入された。今年度、小学校の電子黒板が新しくなり、一人一台のタブレット端末が導入された。このような情報機器の環境のもと、各校で情報活用能力を高めているところである。

2 研究主題

情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践
－教育の情報化の推進を通して－

3 教職員研修会

(1) 第1回情報教育委員会

期日 4月15日(金)

会場 伊方町立伊方中学校

参加者 情報教育主任・顧問

内容 役員選出・今年度の研究主題について・研究計画の作成

(2) 第2回情報教育委員会

期日 7月4日(月)

会場 伊方町立水ヶ浦小学校

参加者 情報教育主任・学力向上主任・顧問

内容 研究授業 1・2年生算数 1年生「ひき算」
2年生「1000までの数」

研究の視点 「ICT機器を活用した学習指導の工夫」

研究協議の概要

- 児童は、タブレット端末の操作に慣れており、ドリル問題をスムーズに解いていた。
- タブレット端末を1年生から使用させ、経験を継続させることで、失敗しても力が付く。
- タブレット端末で学習内容を習熟させることは効果がある。特に複式学級の間接指導においては効果的である。
- ICT支援員の方にも入っていただいた授業であったので、安心してタブレット端末を使用させることができる。

(3) 第3回情報教育委員会

期日 8月2日(火)

会場 伊方町立伊方小学校

参加者 情報教育主任・教務主任・顧問

内容 タブレット端末活用研修
(総合教育センター 出前講座)



4 今後の課題

タブレット端末等、新しいICT機器の各校への導入が進められている。その活用に関する研修を行った結果、西宇和郡の小・中学校でのICTを活用した授業への意識は高まってきている。大切なのは、実際に活用し、授業実践に生かしていくことである。そのためにも、日常的に情報教育の視点を取り入れ、手段としてのICT活用をしていくことがこれからの課題である。